

2024 年 8 月 30 日

The Emerging Markets Weekly

MXN を始めとして中南米通貨の下落が目立つ

新興国市場:先週末 23 日のアジア時間の新興国通貨は総じて堅調。KRW は前日比+1.0%、SGD も上昇した。欧米時間、ジャクソンホール経済シンポジウムの講演でパウエル FRB 議長が 9 月の利下げ開始を強く示唆したことで、米金利低下、全面ドル安となり新興国通貨は続伸。MXN は前日比+2.2%、BRL は同+1.8%値を伸ばした。週初 26 日、アジア時間は先週末の流れが継続し底堅い動き。THB や MYR が大幅に上昇。欧米時間、特段材料がなかったもののパウエル議長講演後の動きを一部巻き戻した。米金利が上昇し新興国通貨は下押しされた。MXN は前日比▲1.5%値を下げた。27 日のアジア時間は中東情勢緊迫化も重しとなり軟調。IDR の下落が目立った。欧米時間はドルの上昇基調が一服する中、中東欧通貨は反発するも、中南米通貨は大半が売られた。MXN は前日比▲1.8%下落。28 日は材料難の中、米金利が上昇しドルが全面高。資源国通貨は商品市況の軟調も重しに。BRL は前日比▲1.1%、ZAR も下落。一方、MXN は買われた。29 日、アジア時間は、前日のドルの上昇が一服したことを背景に大半が上昇した。MYR は前日比+1.5%値を伸ばし、THB も堅調な動き。欧州時間、スペインとドイツの 8 月消費者物価指数 (CPI) が市場予想を下振れ、ユーロに連れて東欧通貨も下落。米国時間、米 4~6 月期実質 GDP 成長率の改定値が上方修正され、ドルが上昇。新興国通貨は売られ、BRL と MXN は前日比▲1.0%超値を下げた。

アジア:23 日公表のシンガポール 7 月 CPI は前年比+2.4%と市場予想を下回った。インドネシアの選挙管理委員会は 25 日に 2 月に実施した国会議員選挙での各党の議席数を発表。第 1 党は与党闘争民主党が維持し、110 議席となった。タイの与党で最大議席数を誇るタイ貢献党のソラウォン幹事長は 27 日、親軍政党である国民国家の力党 (PPRP) を次期政権から排除する方針を明らかにした。タイ貢献党は PPRP のブラウイット党首がペートンタン新首相を選出した首相指名投票に姿を見せなかったことを批判している。タイのパオプーム副財務相は 28 日、タイ経済はある程度回復の兆しを見せているが、潜在成長率と比較して依然改善の余地があるとの見方を示した。

ラテンアメリカ:メキシコの議会委員は 27 日、ロペスオブラドル大統領が掲げる司法制度改革案を承認した。同案は最高裁判所判事を含む裁判官を任命制ではなく国民投票で選ぶことを義務付ける内容が含まれる。司法制度改革の実現が一段近づき、MXN は週間で▲3.7%下落した。ブラジルのルラ大統領は 28 日、ブラジル中央銀行の次期総裁にガブリエル・ガリポロ理事を指名したと報道された。今後の上院の経済問題委員会と本会議で承認されれば、12 月で任期を終えるネット総裁の後任として 2025 年 1 月 1 日から正式に就任する見込みである。同日、ネット総裁はインフレ率を 3%の目標に戻す取り組みの中、現時点では柔軟性が必要だとし、次回会合に関する指針は示さない考えを明らかにした。

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

市場概観(韓国)

8 月金融通貨委員会～利下げを意識した情報発信が増える

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

韓国銀行(中央銀行、BOK)は 22 日、金融通貨委員会を開催し、政策金利(7 日物レポ金利)を委員会メンバーの全会一致で 3.50%に据え置くことを決定した(図表 1)。据え置きは昨年 2 月に利上げを停止してから 13 会合連続での決定となった。なお、ブルームバーグの事前予想でも現状維持が優勢だった。

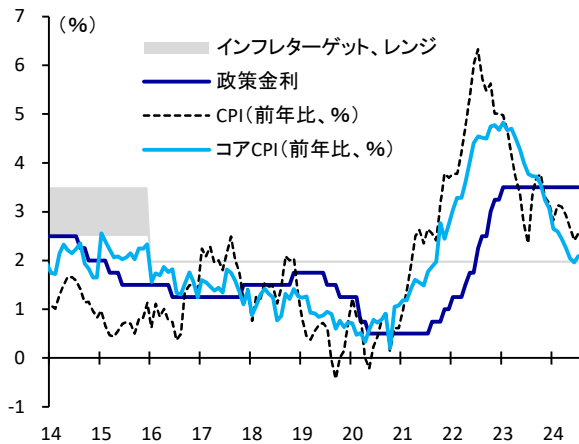
今回合では BOK は経済見通しを更新している(図表 2)。前回 5 月時点との比較では、GDP 成長率・インフレ率ともに▲0.1%ポイントの下方修正が入った。特に GDP 成長率については、直近の 4～6 月期 GDP が前四半期から鈍化し、前期比では▲0.2%と 6 四半期ぶりにマイナスを記録したことが意識されたように見受けられる。声明文で前回会合に続き国内経済について内需部門と外需部門の勢いに差が出てきていると指摘しているように、外需部門の見通しが引き上げられる一方で、内需部門は引き下げられている。下半期については外需依存度が一段と高まりそうな地合いにあるが、米国や中国の急速な景気減速リスクについては特に注意を払いたい。

物価動向について、直近の 7 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.6%、農産品や石油類を除いたコア CPI は同+2.2%を記録した(図表 3)。7 月の総合 CPI の加速はエネルギー価格の上昇を主因とするものであり、年後半にかけてのインフレ基調は下向きとなるという従来の予想に変更はないようだ。李 BOK 総裁も足許のインフレ動向について、利下げするのに適切な環境に向かっていると評価している。

かかる中、BOK は金融環境や景気動向にも注意を払いながら中期的なインフレターゲットに物価水準を安定させていく方針を示した。また、引き締めの金融政策スタンスを維持しながら、利下げの適切なタイミングを検討する必要があると表明している。李 BOK 総裁は先ほどの発言に加えて政策委員メンバー 7 人のうち 4 人が 3 か月以内の利下げに前向きな姿勢を示していると述べ、年内での利下げが視野に入っていることが窺える。なお、一連の発言の裏で李総裁は金融政策の転換により不動産価格の上昇に拍車をかけないようにすることや市場への過剰な流動性供給はしない旨の発言をしており、利下げに転じた場合においても緩和のペースについては慎重に議論していくことを示唆した。過去の本欄では、BOK の下半期最大の政策テーマは利下げ時期の見極めになると記載したが、最速で 10 月利下げの可能性も考慮に入りたい。

KRW の動向について、米国での利下げ期待の高まりによって対米金利差が縮小しており、これが KRW の持ち直しにも繋がっている(図表 4)。今後も FRB の継続的な利下げが期待されれば、金利面で KRW 相場を下支えすると考えられる。また、外需部門の加速は貿易黒字の拡大などを通じて実需の KRW 買いを促すと考えられるが、先述の通り米国の景気鈍化が現在の市場の想定以上になった場合は、リスクオフの観点から下落に転じる場合がある点には留意したい。また、当局も通貨安が輸出の面で優位に働く以上、急速な通貨安調整を嫌気すると考えられ、来年以降も米国睨みの金融政策を続けると考えられる。

図表 1: 政策金利とインフレ率



出所: BOK、CEIC、みずほ銀行

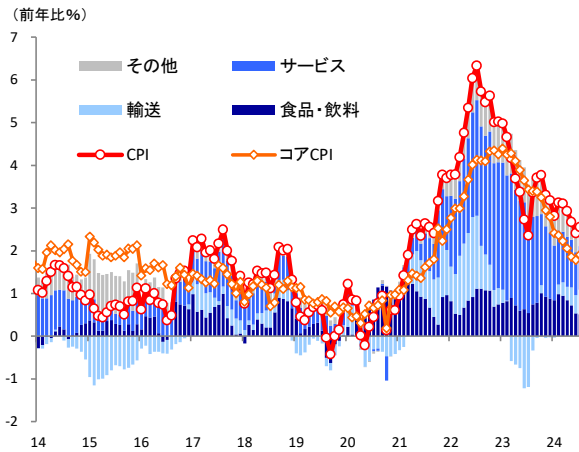
図表 2: BOK 経済物価見通し

	2023年	2024年		2025年	
	(前年比) 通年	上半期	下半期	通年	通年
実質GDP成長率	1.4%	2.8%	2.0%	2.4%	2.1%
民間最終消費支出	1.8%	1.0%	1.8%	1.4%	2.2%
設備投資	0.5%	-2.3%	2.6%	0.2%	4.3%
知的財産投資	1.6%	1.7%	2.0%	1.9%	3.3%
建設投資	1.4%	0.8%	-2.2%	0.8%	-0.7%
輸出(財)	2.9%	8.4%	5.6%	6.9%	2.9%
輸入(財)	-0.6%	-1.4%	4.6%	1.6%	3.6%
消費者物価指数(CPI)	3.6%	2.8%	2.2%	2.5%	2.1%

(数値は全て前年比)

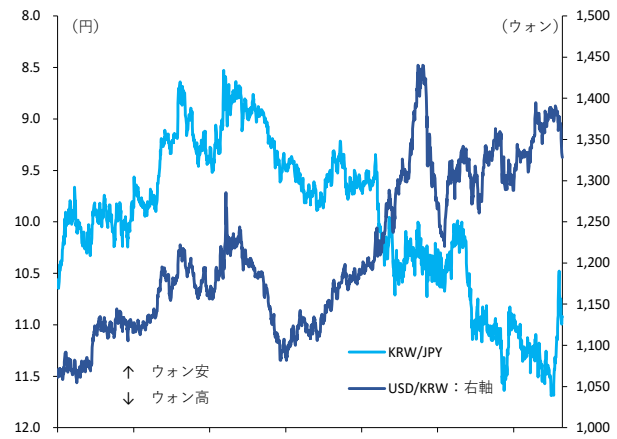
出所: BOK、みずほ銀行

図表 3: 消費者物価指数の推移(前年比%、%ポイント)



出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: KRW 相場の動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(メキシコ)

Banxico の金融政策動向、およびメキシコの司法改革について

金融市場部
マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

四半期報告書を受けて～Banxico は中立金利の上昇を示唆～

メキシコ中央銀行(Banxico)は 8 月 28 日、四半期報告書を公表した。なお、今回の報告書は、2024 年 4～6 月期を対象としている。本欄では、報告書の内容を簡単に分析するとともに、Banxico の金融政策の先行きについて論じたい。

まず、今回の報告書の内容で最も注目を集めたのは、GDP 成長率見通しの引き下げだろう。今回の見通しは、2024 年～25 年に関し、それぞれ+1.5%、+1.2%(前年比、以下同様)となっている(図表 1)。前回 5 時点と比較すると、2024 年が▲0.9%ポイント、2025 年が▲0.3%ポイント下方修正されている。Banxico はこれを、2024 年 4～6 月期の成長率が低迷したことを反映した、と説明している。実際、4～6 月期の成長率を確認すると、+2.1%(確報)と市場予想(速報時点)の+2.4%を大きく下回った(図表 2)。前期比でみると、1～3 月期の+0.28%から+0.16%に減速している。先行きに関しては、政府支出による押し上げ効果の剥落、および米国製造業部門の低迷が成長率の下押しに寄与する、と分析した。もっとも 2025 年にかけては、外需の底入れを受け成長率も持ち直すとの見立てだ。

なおインフレの見通しに関しては、8 月 8 日開催の金融政策決定会合時点の予測から変化はない(図表 3)。高水準の実質政策金利が続く中でも、サービス分野の粘性は継続し、2025 年の 10～12 月期に Banxico の目標レンジ(前年比+3%±1%)の中心にようやく回帰するとの見通しだ。また、コアインフレの粘性や通貨安に加え、気候要因や地政学的要因に伴う食料・エネルギー価格高騰など、インフレのリスクバランスが上方に傾いていることを強調しており、警戒姿勢を解除したわけではない。

かかる中、市場が最も注目するのは、今後の利下げペースだろう。Banxico は 8 日に開催した金融政策決定会合で、政策金利(翌日物金利)を▲25bp 引き下げて、10.75%とした(*)。決定は 3 対 2 の多数決で、2 名が政策金利の据え置きを主張した。利下げは 3 月会合以来、3 会合ぶり。22 日には同会合の議事要旨が公表されたが、総じて段階的な利下げに前向きな姿勢が確認された。次回 9 月会合での利下げ判断は、それまでに公表される 8 月分、および 9 月前半分の消費者物価指数(CPI)の結果を踏まえたものになるだろうが、▲25bp の利下げが続く可能性が高いと見ておきたい。

なお Banxico は、政策金利に関し、民間調査における 12 か月先の期待インフレ率を引いたものを「短期実質政策金利」とし、これの均衡水準を「中立実質政策金利」としている。従前、Banxico は中立実質政策金利を全期間において+1.8%～+3.4%(中心は+2.6%)と考えていた。しかしながら、今回の報告書では、2019 年 7 月までを+1.7%～+3.3%(中心は+2.5%)、2019 年 8 月～2024 年 7 月を+1.8%～+3.4%(中心は+2.6%)、2024 年 8 月以降を+1.8%～+3.6%(中心は+2.7%)とその推計を変更している(図表 4)。目先の数字が上方修正されていることから、Banxico は中立金利の上昇を意識していることがうかがえる。とはいっても、短期実質政策金利は足許でも依然+7.0%を上回っており、金融環境は十二分に引き締めたと評価できる。とはいえ、インフレ目標を上回る物価上昇が長らく定着してしまったことを考えると、当面の

間、短期実質政策金利は引き締めの必要がありそうだ。もっとも上述の通り、緩やかな利下げは十分支持される。22 日に公表された経済活動指数、および 8 月前半の CPI はいずれも弱い結果になっており、景気およびインフレの弱まりからも、利下げは正当化されよう(図表 5、6)。FRB の利下げが目前に迫っていることを考慮に入れても、メキシコの政策金利は年末までに毎会合▲25bp 引き下げられ、10.00% に設定されると見込んでいる。

メキシコにおける司法制度改革の進展について

ところで、米 7 月雇用統計公表後に大荒れになった金融市場だが、その後は落ち着きを取り戻している。結果、主要な中南米通貨は対ドルでの買い戻しが目立つのだが、MXN は明白に劣後している(図表 7)。上述の通り、軟調な域内経済指標および Banxico の利下げ織り込みの進展も背景にあらうが、主因はこれらではないだろう。各種報道でも明らかとなっており、与党の国民再生運動(MORENA)を中心とした左派連合による司法制度改革法案の議会提出、およびそれに懸念を示した米国、カナダとの関係悪化が MXN の逆風になっている。16 日、左派連合は司法制度改革法案を議会に提出したが、これは最高裁を含む判事を国民による直接投票で選出する内容を含む。市場経済への介入が目立ったオブラドール現大統領(アムロ、任期は 9 月末まで)政権でも、司法が政権の行き過ぎた政策に制約をかけてきた経緯もあり、司法の有名無実化や政権による市場経済への介入の強まりが懸念されている。かかる中 27 日には議会委員会が同法案を賛成多数で承認した。6 月の総選挙結果を反映した新議会は 9 月に始まるので、早晚議会での議論が開始される見込みだ。改憲には議会の 3 分の 2 の賛成が必要だが、総選挙結果において左派連合は下院ではこれを優に上回る議席数を有する一方、上院ではこれに僅かに届かない議席数(3 議席不足)を確保するはずだった。しかし現地紙の報道を見る限り、左派連合が司法制度改革に際し野党の一部議員の賛同を得ているとの情報もある。その後実際に、28 日にはシェインバウム次期大統領が、上院の野党議員 2 名が与党連合に加わることを明言している。よって、左派与党連合は上院においても 3 分の 2 まであと 1 議席までに迫っていることになる。すなわち、9 月中にも司法制度改革法案が上下院を通過する可能性がある。

MORENA が司法制度改革を目指していたことは以前からわかっていたのだが、ここまで急ピッチで法案提出に至ることはやや想定外であった。実際、メキシコ国内の司法関係者は全国的なストライキを執行しており、関係性の深い米国・カナダの大使は懸念を表明した。もっとも、アムロ現大統領はこれを受け 27 日には米国・カナダの大使館との関係を「一時停止する」と表明しており、隣国への配慮は感じ取れなかった。メキシコは米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)のもとで大きな対米貿易黒字を稼いでいるが、USMCA の見直し交渉を控えていること、米大統領選挙で保護主義的な政権が誕生する可能性があることを考慮に入れば、アムロ現大統領の強硬姿勢は得策とは言えないだろう(図表 8)。10 月に就任するシェインバウム氏はアムロ氏よりは遥かにマーケットフレンドリーであることも考えれば、新政権の下では隣国との関係性も改善に向かう可能性もある。司法制度改革に際しても、改革を急がないこと、法律を遵守することを提案したとの報道がある。もっとも、シェインバウム氏がアムロ人気に押される格好で大統領選挙を圧勝したことは否定しがたい事実であり、次期政権においてもアムロ氏への配慮が必要になり事実上「院政」に陥る、との指摘も絶えない。総合的に考えれば、MXN の値動き自体も、当面は金融政策動向というよりも、政治および外交にまつわるヘッドラインに振られる展開が続くそう。特に 9 月においては、司法制度改革が MXN の動きを左右するだろう。

*詳細は、8 月 9 日発行の通貨ニュース、『中南米:ブラジル・メキシコの金融政策動向、および為替見直し変更について』をご覧ください。

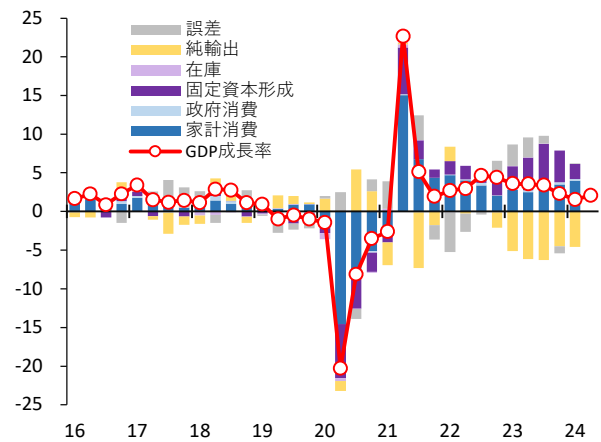
図表 1: Banxico の GDP 成長率見通し

GDP成長率見通し				
		2023	2024	2025
2024年	8月時点	3.2%	1.5%	1.2%
	5月時点	3.2%	2.4%	1.5%
	2月時点	3.2%	2.8%	1.5%
2023年	11月時点	3.3%	3.0%	1.5%
	8月時点	3.0%	2.1%	-
	5月時点	2.3%	1.6%	-
	3月時点	1.6%	1.8%	-

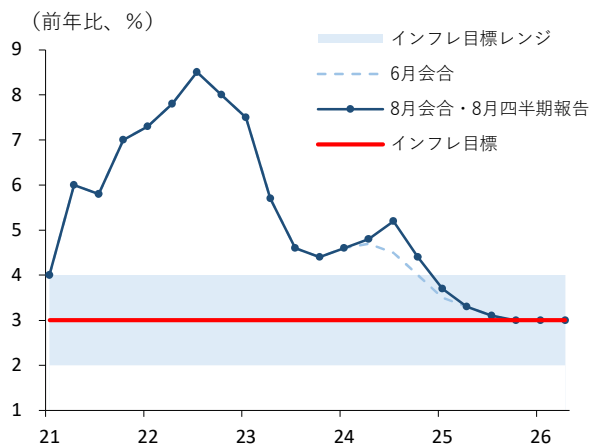
※前年比、%

※見通しの中央値を記載

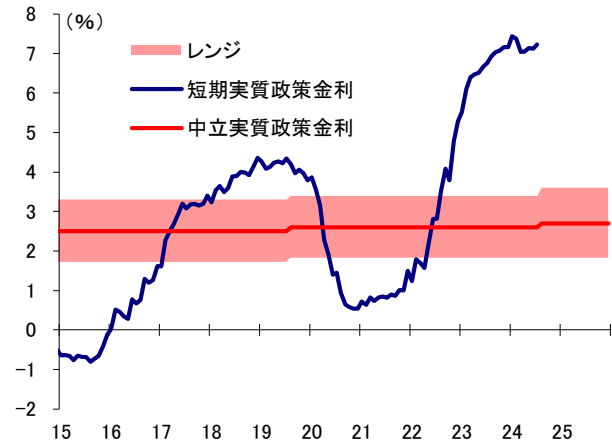
出所: Banxico、みずほ銀行

図表 2: GDP 成長率の実績(前年比%、%ポイント)


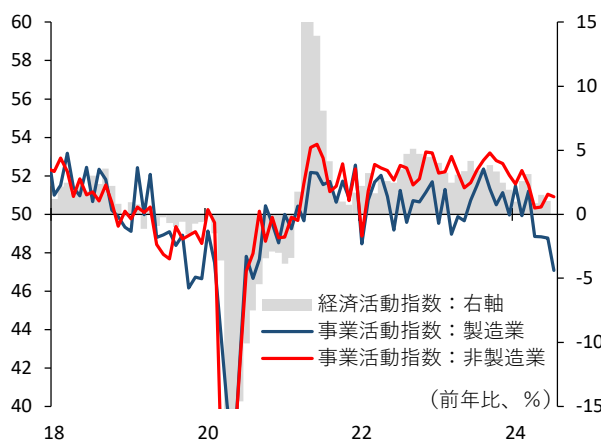
出所: Bloomberg、みずほ銀行 ※4~6 月期は成長率のみ

図表 3: Banxico の CPI 見通し(総合ベース)


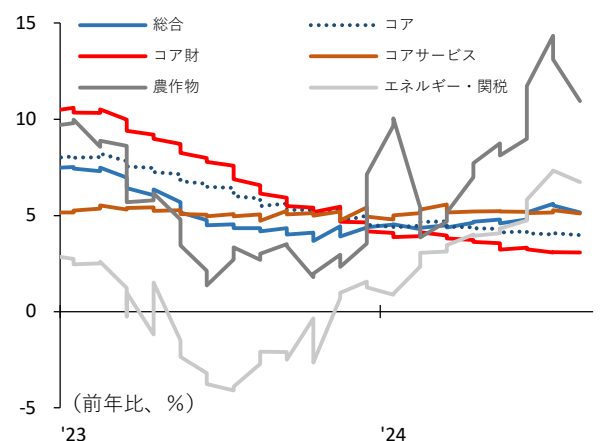
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: Banxico の想定する中立実質政策金利


出所: Macrobond、みずほ銀行

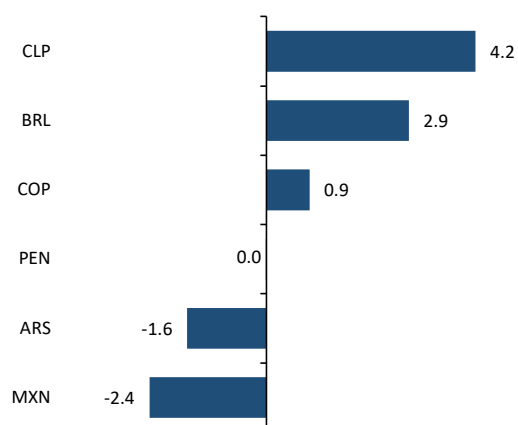
図表 5: メキシコの経済活動指数と事業活動指数


出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 6: メキシコの消費者物価指数(隔週)


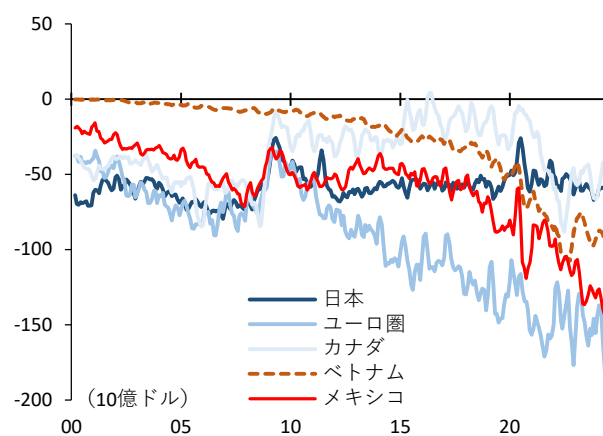
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 7: 中南米通貨の対ドル騰落率(8 月 2 日~28 日、%)



出所: Bloomberg、みずほ銀行

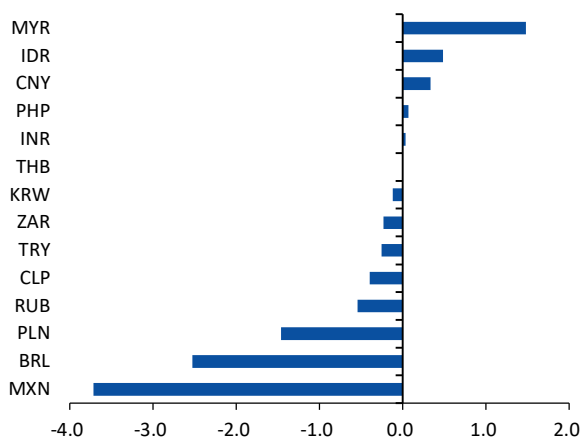
図表 8: 米国の貿易収支(3 か月移動平均)



出所: Bloomberg、みずほ銀行

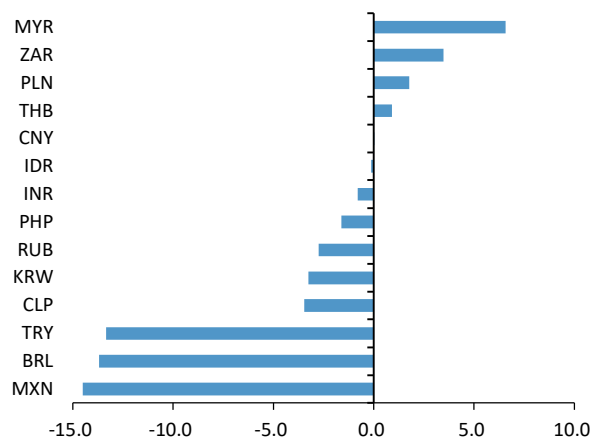
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



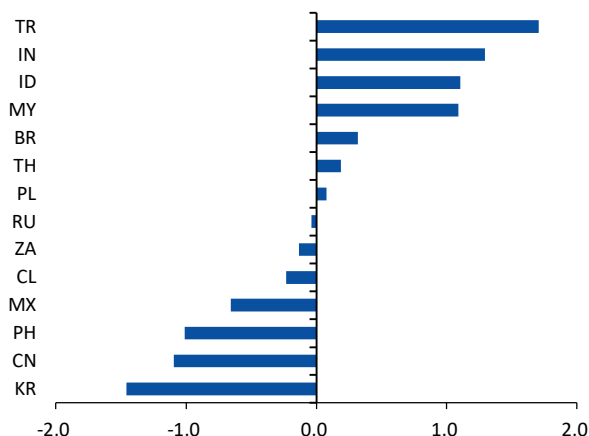
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



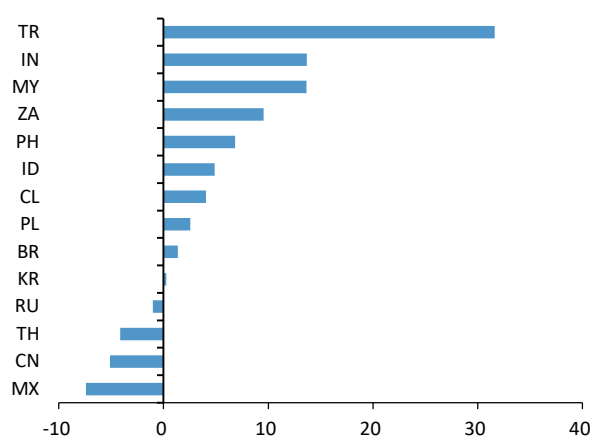
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



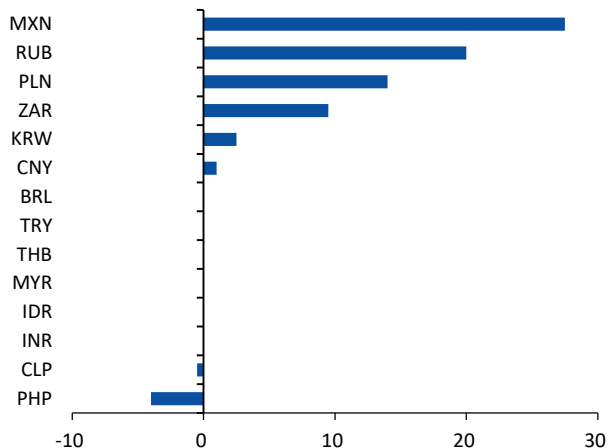
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

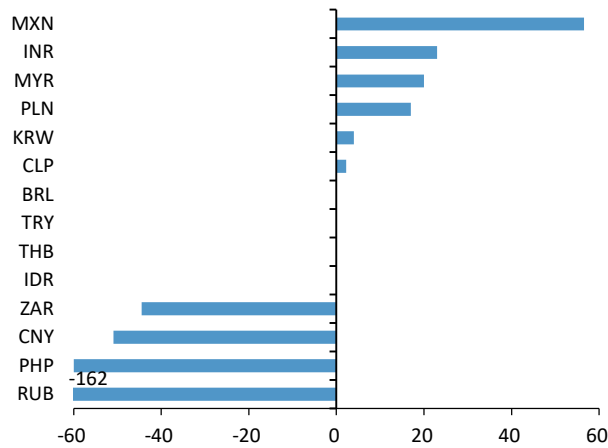
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

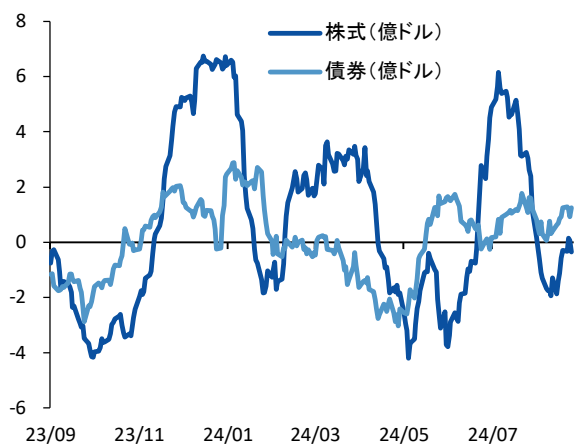


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

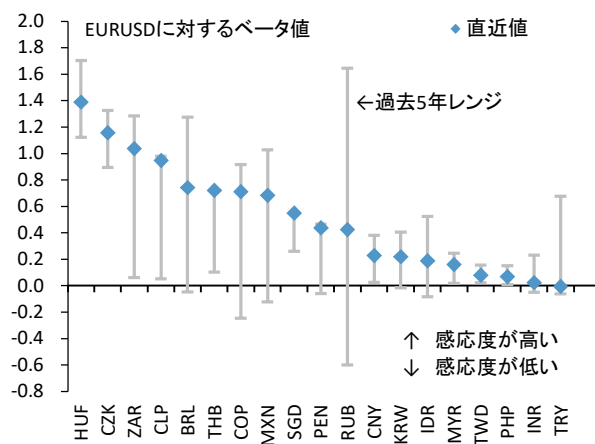
チャート集

主要新興国への証券投資(4 週間移動平均)



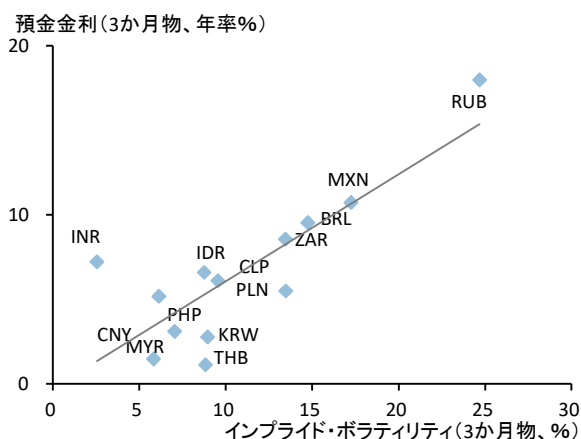
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

EM 通貨(対ドル)の EURUSD に対する感応度(過去 12 か月)



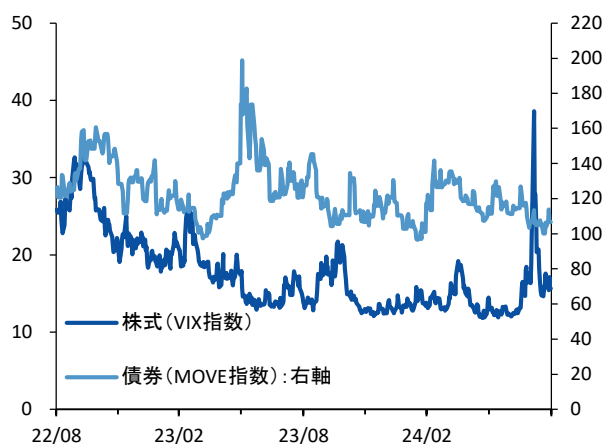
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



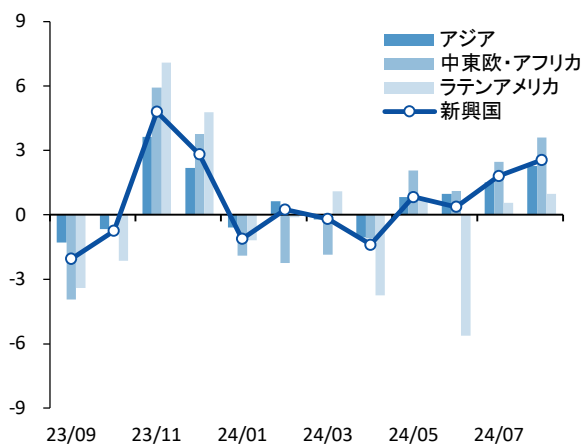
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX 指数、MOVE 指数)



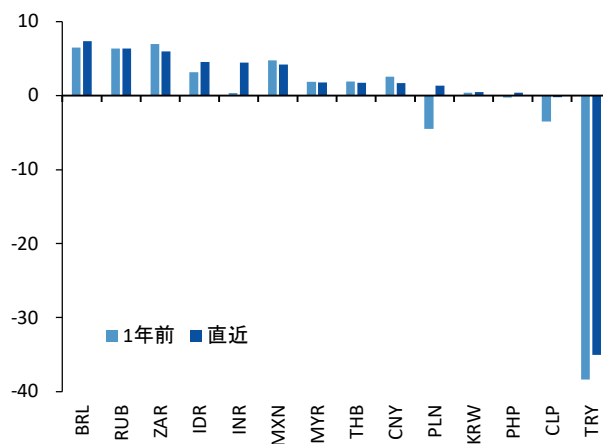
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

実質金利(10 年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
8月26日 (月)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	0.2%	1.8%	-3.9%	-4.3%
27日 (火)	中国	工業企業利益(前年比)	--	3.6%	3.5%	3.6%
27日 (火)	タイ	貿易収支(通関ベース)	-\$50m	-\$1370m	\$218m	--
28日 (水)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	-28.8b	-209.1b	--
30日 (金)	韓国	鉱工業生産(前年比)	7.3%	--	3.8%	--
30日 (金)	タイ	国際収支:経常収支	--	--	\$1950m	--
30日 (金)	タイ	貿易収支	--	--	\$2449m	--
30日 (金)	インド	GDP(前年比)	6.8%	--	7.8%	--
31日 (土)	中国	製造業PMI	49.4	--	49.4	--
31日 (土)	中国	非製造業PMI	50.0	--	50.2	--
9月1日 (日)	韓国	貿易収支	\$3941m	--	\$3617m	\$3599m
2日 (月)	中国	Caixin中国製造業PMI	--	--	49.8	--
2日 (月)	インドネシア	CPI(前年比)	--	--	2.1%	--
3日 (火)	韓国	CPI(前年比)	--	--	2.6%	--
4日 (水)	中国	Caixin中国PMIサービス業	--	--	52.1	--
5日 (木)	韓国	GDP(前年比)	--	--	2.3%	--
5日 (木)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	--	--	4.4%	--
5日 (木)	タイ	CPI(前年比)	--	--	0.8%	--
5日 (木)	シンガポール	小売売上高(前年比)	--	--	-0.6%	--
5日 (木)	マレーシア	BNM翌日物政策金利	--	--	3.0%	--
5日 (木)	台湾	CPI(前年比)	--	--	2.5%	--
6日 (金)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$12259.2m	--
中東欧・アフリカ						
8月26日 (月)	トルコ	製造業景況感指数(季調前)	--	98.5	100.3	--
26日 (月)	トルコ	設備稼働率	--	75.4%	75.9%	--
28日 (水)	トルコ	貿易収支	-7.15b	7.29b	-5.87b	--
29日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	5.4%	6.1%	6.3%	--
29日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	2.7%	3.3%	1.9%	2.7%
29日 (木)	南ア	PPI 前年比	4.5%	4.2%	4.6%	--
30日 (金)	南ア	貿易収支(ラント)	17.6b	--	24.2b	--
9月2日 (月)	トルコ	GDP(前年比)	--	--	5.7%	--
3日 (火)	トルコ	CPI(前年比)	--	--	61.8%	--
3日 (火)	トルコ	PPI 前年比	--	--	41.4%	--
3日 (火)	南ア	GDP(前年比)	--	--	0.5%	--
5日 (木)	南ア	経常収支(対GDP比)	--	--	-1.2%	--
ラテンアメリカ						
8月26日 (月)	ブラジル	経常収支	-\$4000m	-\$5162m	-\$4029m	--
27日 (火)	メキシコ	貿易収支	-1650.0m	-72.0m	-1036.9m	--
27日 (火)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	4.3%	4.4%	4.5%	--
29日 (木)	ブラジル	FGVインフレIGPM(前年比)	4.4%	4.3%	3.8%	--
30日 (金)	ブラジル	純債務対GDP比	62.3%	--	62.2%	--
9月3日 (火)	ブラジル	GDP(前年比)	2.6%	--	2.5%	--
3日 (火)	メキシコ	総設備投資(季調前、前年比)	--	--	6.0%	--
4日 (水)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	--	--	3.2%	--
6日 (金)	ブラジル	貿易収支(月次)	--	--	\$7640m	--

注: 2024 年 8 月 30 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2024年 1～7月（実績）	SPOT	2024年 9月	12月	2025年 3月	6月	9月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	7.1021 ～ 7.2775	7.0970	7.25	7.30	7.25	7.20	7.15
香港ドル	(HKD)	7.7964 ～ 7.8387	7.7976	7.80	7.80	7.78	7.77	7.76
インドルピー	(INR)	82.646 ～ 83.751	83.869	83.6	84.5	82.2	80.9	80.5
インドネシアルピア	(IDR)	15430 ～ 16478	15424	16200	16300	16200	16000	15800
韓国ウォン	(KRW)	1290.40 ～ 1400.00	1332.80	1360	1370	1350	1330	1310
マレーシアリング	(MYR)	4.5892 ～ 4.8053	4.3110	4.50	4.63	4.52	4.45	4.40
フィリピンペソ	(PHP)	55.300 ～ 58.930	56.288	58.0	58.4	57.8	57.2	56.8
シンガポールドル	(SGD)	1.3193 ～ 1.3670	1.3029	1.34	1.37	1.34	1.33	1.33
台湾ドル	(TWD)	30.663 ～ 32.922	31.924	32.0	32.2	31.8	31.3	30.8
タイバーツ	(THB)	34.11 ～ 37.18	33.96	35.4	36.2	35.5	35.2	35.0
ベトナムドン	(VND)	24260 ～ 25477	24880	25200	25300	24900	24800	24700
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	82.6604 ～ 95.4670	92.0000	86.0	85.0	84.0	83.0	82.0
南アフリカランド	(ZAR)	17.8689 ～ 19.3899	17.7492	18.6	18.5	18.4	18.3	18.2
トルコリラ	(TRY)	29.6646 ～ 33.1688	34.0791	33.0	32.5	32.0	31.5	31.0
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.8314 ～ 5.7008	5.6272	5.50	5.30	5.35	5.37	5.40
メキシコペソ	(MXN)	16.2616 ～ 18.9929	19.8374	18.7	18.4	18.3	18.5	18.5
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	19.830 ～ 22.256	20.403	20.69	20.27	20.14	20.83	21.54
香港ドル	(HKD)	18.032 ～ 20.733	18.583	19.23	18.97	18.77	19.31	19.85
インドルピー	(INR)	1.695 ～ 1.939	1.728	1.79	1.75	1.78	1.85	1.91
インドネシアルピア	(100IDR)	0.913 ～ 0.999	0.940	0.926	0.908	0.901	0.938	0.975
韓国ウォン	(100KRW)	10.820 ～ 11.735	10.872	11.03	10.80	10.81	11.28	11.76
マレーシアリング	(MYR)	30.593 ～ 34.507	33.522	33.33	31.97	32.30	33.71	35.00
フィリピンペソ	(PHP)	2.541 ～ 2.776	2.571	2.59	2.53	2.53	2.62	2.71
シンガポールドル	(SGD)	106.65 ～ 120.03	111.21	112.28	108.42	109.36	112.78	115.96
台湾ドル	(TWD)	4.560 ～ 4.976	4.540	4.69	4.60	4.59	4.79	5.00
タイバーツ	(THB)	4.096 ～ 4.465	4.267	4.24	4.09	4.11	4.26	4.40
ベトナムドン	(10000VND)	0.5807 ～ 0.6365	0.5824	0.60	0.58	0.59	0.60	0.62
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.552 ～ 1.907	1.576	1.74	1.74	1.74	1.81	1.88
南アフリカランド	(ZAR)	7.588 ～ 8.973	8.164	8.06	8.00	7.93	8.20	8.46
トルコリラ	(TRY)	4.512 ～ 4.978	4.251	4.55	4.55	4.56	4.76	4.97
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	26.433 ～ 31.200	25.750	27.27	27.92	27.29	27.93	28.52
メキシコペソ	(MXN)	7.928 ～ 9.455	7.301	8.02	8.04	7.98	8.11	8.32

注: 1. 実績の欄は 2024 年 7 月 31 日まで。SPOT は 8 月 30 日の 7 時 10 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。